

# 44 食品等流通持続化モデル総合対策事業

【令和3年度予算概算要求額 2,485 (156) 百万円】

## <対策のポイント>

「新しい生活様式」下での持続的なサプライチェーン・モデルを実現するとともに、持続的な輸出のための食品流通モデルを実現します。

## <事業目標>

- 持続的なサプライチェーン・モデルを30モデル構築 [令和5年度まで]
- それぞれのサプライチェーン・モデルにおける労働時間や経費の30%以上削減 [令和5年度まで] 等

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 「新しい生活様式」下での持続的なサプライチェーン・モデルの実現

- ① 食品流通業者等の業務改革に当たり、「三つの密」防止を徹底するための**構造的な自動化・リモート化**、鉄道、船舶への**モーダルシフト**や**物流拠点の整備**等を支援します。
- ② 消費者の購買行動の変化に対応した**新しい買い物スタイル**を確立するため、**ドライブスルー**、**移動販売**等を支援します。
- ③ **品目ごとの安定供給と流通の合理化**を実現するため、
  - ア トラック予約システムと商品管理データベースとのデータ連携
  - イ 肥料の流通合理化に向けた一貫パレチゼーション
  - ウ 飼料輸送の効率化・標準化に向けた取組
  - エ 精米・精製糖物流における効率的な配送システムの構築等の**実証**を支援します。

### 2. サプライチェーン全体で連携した持続的な輸出のための食品流通モデルの実現

輸出条件への対応及び取引の高度化のための**トレーサビリティ・データ連携システム**の構築、安定的かつ低コストな**コールドチェーン**の整備等を支援します。

### 1. 「新しい生活様式」下での持続的なサプライチェーン・モデルの実現

①「三つの密」防止  
・構造的な自動化・リモート化

AI・ICTによるリモート商品管理・マッチング、AGVによる自動搬送

①モーダルシフトや物流拠点の整備

・トラック輸送の逼迫等を踏まえた鉄道、船舶へのモーダルシフト

・集約物流拠点の整備におけるパレット体系の構築

③イ IC搭載パレットに肥料を積載出荷を端末で管理

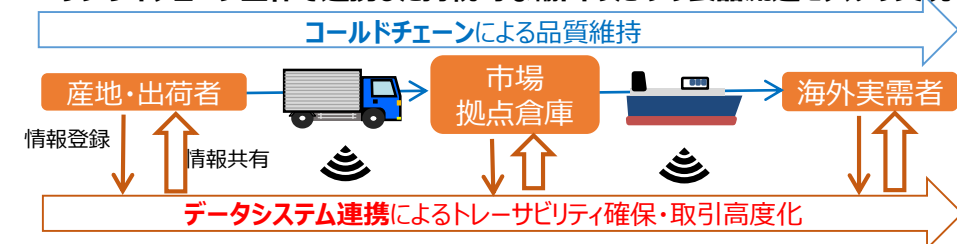
製造業者 ← 卸売業者 → 小売業者

パレットを無選別回収

③ウ 超音波センサー等を用いた飼料在庫・配送管理の実証

③エ スtockポイントの共同利用、統一機材等による共同配送

### 2. サプライチェーン全体で連携した持続的な輸出のための食品流通モデルの実現



- 【お問い合わせ先】
- |                    |            |                |
|--------------------|------------|----------------|
| (1 ①②③ア、2の事業)      | 食料産業局食品流通課 | (03-3502-5741) |
| (1 ①の事業 (モーダルシフト)) | 生産局園芸作物課   | (03-3501-4096) |
| (1 ③イの事業)          | 生産局技術普及課   | (03-6744-2435) |
| (1 ③ウの事業)          | 生産局飼料課     | (03-3591-6745) |
| (1 ③エの事業 (精米))     | 政策統括官農産企画課 | (03-6738-8964) |
| (1 ③エの事業 (精製糖))    | 政策統括官地域作物課 | (03-6744-2116) |

## <事業の流れ>

